

【生物系】

研究課題名	カドヘリン接着分子群と細胞骨格の連携による細胞行動制御
研究代表者	竹市 雅俊 (理化学研究所・高次構造形成研究グループ・グループディレクター)
研究の概要	動物の体を作っている細胞をほぐして観察すると、運動する能力があることがわかる。さらに発生の過程では、細胞が動き、その集団を変形させたりしながら体の構造を作るので、細胞の運動能力は発生のために必須である。一方、体を維持するために細胞は互いに接着している。よって、細胞が動いたり変形したりするためには接着を調節しなければならない。逆に、細胞間の接着自体が運動を抑制するシグナルを生み出すことも知られている。この課題では、細胞接着分子と運動を司る細胞骨格系が、どのように連携しながら細胞の行動を制御しているかについて研究する。研究の成果は、動物の発生のしくみ解明のみならず、がん細胞転位の治療法開発などにも貢献できる。
研究者数・期間	1人 (平成20年度 ~ 平成24年度)